

能勢のギフチョウに関しては、仲田元亮さんが、現在執筆中の「能勢の昆虫」(追加、改訂版)に詳しく発表されるであろうし、森地重博さんもまた、この地域のギフチョウを詳しく調べられているので今后、新しい知見が得られると思われる。

私も今後共こういった調査を続けていくつもりである。(1981. 11. 9)

5. 参考文献

- 1) 日浦 勇:「蝶のきた道」(蒼樹書房)
- 2) 原 聖樹:「ギフチョウの自然史」(築地書館)
- 3) 渡辺康之:「兵庫県武田尾周辺のギフチョウ」(昆虫と自然 14(2), 1979)
- 4) 大阪昆虫同好会:「北摂の昆虫(1)蝶類」
- 5) 宇山喜士:「大阪付近のギフチョウについて」(昆虫と自然 15(5), 1980)
- 6) 橋本セツロー:全国Luehdorfia 情報(TSÚISO No115(1977))

(神戸市垂水区東舞子町18-61-205号)

宝塚大橋の照明燈で採集した蛾(その3)

新 家 勝

今回は、シャチホコガ科、ドクガ科、カレハガ科、カギバ科、シャクガ科、ミノガ科およびメイガ科について報告する。

Notodontidae	シャチホコガ科	
1. <i>Stauropus basalis</i>	ヒメシャチホコ	
1979.9.9	武庫川町	
2. <i>Harpyia lanigera</i>	ナカグロモクメ	
1979.5.6	武庫川町	
3. <i>Naganoea manleyi</i>	オオトビモンシャチホコ	
1978.10.28	武庫川町	
4. <i>Phalera fuscescens</i>	ムクツマキシャチホコ	
1979.9.7	武庫川町	
5. <i>Clostera anachoreta</i>	ツマアカシャチホコ	
1979.5.13	武庫川町	

6. <i>Clostera anastomosis</i>	セグロシヤチホコ
1979.5.23 武庫川町	
Lymantriidae ドクガ科	
1. <i>Dasychira argentata</i>	スギドクガ
1979.10.3 武庫川町	
2. <i>Leucoma candida</i>	ブチヒゲヤナギドクガ
1978.10.11 南口2丁目	
3. <i>Lymantria mathura aurora</i>	カシワマイマイ
1979.7.5 武庫川町	
4. <i>Parocneria furva</i>	ウチジロマイマイ
1979.5.16 武庫川町	
Lasiocampidae カレハガ科	
1. <i>Gastropacha populifolia</i>	ホシカレハ
1979.9.20 南口2丁目	
2. <i>Gastropacha quercifolia</i>	カレハガ
1978.9.30 南口2丁目	
3. <i>Malacosoma neustria</i>	オビカレハ
1979.6.6 南口2丁目	
4. <i>Dendrolimus spectabilis</i>	マツカレハ
1979.7.20 武庫川町	
Drepanidae カギバ科	
1. <i>Tridrepana crocea</i>	ウコンカギバ
1979.10.3 南口2丁目	
2. <i>Hypsomadius insignis</i>	アカウラカギバ
1979.9.21 南口2丁目	
Geometridae シャクガ科	
1. <i>Somatina indicataria morata</i>	ウンモンオオシロヒメシャク
1979.5.23 南口2丁目	
2. <i>Scopula superior</i>	キナミシロヒメシャク
1979.6.10 武庫川町	
3. <i>Sauris nigrilinearia</i>	ウスミドリナミシャク
1980.11.9 南口2丁目	

4. <i>Jankowskia athleta</i>	チャノウモンエダシヤク
1979.9.22 武庫川町	
5. <i>Alcis angulifera</i>	ナカウスエダシヤク
1978.10.15 武庫川町	
6. <i>Alcis grisea</i>	フタヤマエダシヤク
1979.5.23 武庫川町	
7. <i>Megabiston plumosaria</i>	チャエダシヤク
1978.11.9 武庫川町	
8. <i>Gonodontis arida</i>	エグリツマエダシヤク
1978.11.9 武庫川町	
9. <i>Ourapterx nivea</i>	ウスキツバメエダシヤク
1978.10.18 南口2丁目	
Pshychidae ミノガ科	
1. <i>Claniva variegata</i>	オオミノガ
1978.10.15 南口2丁目	
Pyralididae メイガ科	
1. <i>Herculia nanalis</i>	コシマメイガ
1979.11.3 武庫川町	
2. <i>Dichocrocis punctiferalis</i>	モモノメイガ
1979.8.14 南口2丁目	
3. <i>Botyodes principalis</i>	オオキノメイガ
1978.11.8 武庫川町	
4. <i>Calguia defigralis</i>	ウスアカマダラメイガ
1979.5.24 武庫川町	

Ⅲ ま と め

以上、3回にかけて報告した「宝塚大橋の照明燈で採集した蛾」について科別の種類数を示すと次のとおりになる。

スズメガ科	8種
ヤママユガ科	4種
ヒトリガ科	7種
ヤガ科	55種

シャチホコガ科	6種
ドクガ科	4種
カレハガ科	4種
カギバ科	2種
シャクガ科	9種
ミノガ科	1種
メイガ科	4種
計 11科	104種

上記の科別の種類数をみるとヤガ科の55種は、他科の種類数に比べて圧倒的に多かった。調査を始めた当初からメイガ科のものがかなり採集できるものと予想したにもかかわらず、4種であり非常に少なかった。

採集品のほとんどが普通種であったが、アトジロキョトウとヨショトウは近畿では数少ない種類である。また、ヤマトホソヤガはこの資料を纏めた1981年1月時点では和名は決定されているが学名は決定されていない種類である。

種類により個体数の少ないものと多いものがある。個体数の少ないものとしてメンガタスズメ、クロスズメ、ブドウスズメは1頭採集しただけで、採集品以外に目撃した個体はない。採集1頭、目撃なしの種類はこれら以外にもあった。

個体数の非常に多かったものとしてハスモンヨトウ、クロクモヤガ、オオバコヤガ、フサヤガ、アカエグリバがある。しかしながら、年によって消長が激しく、ハスモンヨトウおよびフサヤガは1978年は多く、1979年は少なく、1980年は多かった。アカエグリバは1978年は多かったが、1979年および1980年は1頭も目撃しなかった。

宝塚大橋の照明燈は、上流側の歩道と下流側の歩道との2列にわかれて取り付けられており、通常、風下に当たる下流側の照明燈に多くの昆虫が集っている。上流側の照明燈に昆虫が多いときは下流から上流へ向って風が吹いている。

以上に報告したとおり、余り努力せずに調査した結果なので纏めて見ると淋しいものになってしまったが、宝塚市内の蛾相の一端は示しているものと思う。調査3年目の1980年には新しく採集する種類が少なくなったが、まだまだ多くの種類のものが採集できるはずであり、今後とも調査を継続し、機会をみてこの紙面をお借りして報告させていただくことにする。

なお、最後になりましたが、ここに記録した蛾の同定に際して東 正雄先生および木下総一郎先生から並々ならぬ御指導と御援助をいただきましたことについて厚く御礼申し上げます。さらに発表をお勧め頂きました高橋寿郎氏にたいしても厚く御礼申し上げます。